

### 令和6年度 区立幼稚園園児募集

令和6年度の区立幼稚園3・4・5歳児の募集を行います。

#### 申し込み資格

区内在住で、集団生活が可能な3・4・5歳児

- ・3歳児(令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ)
- ・4歳児(平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ)
- ・5歳児(平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ)

#### 願書の交付・受付期間

10月25日～31日  
午後2時30分～4時  
各幼稚園で行います。  
先着順ではありません。

◎区立幼稚園は通園区域(小学校の通学区域と同じ)があり、

お住まいの住所地により、申し込みできる幼稚園が指定されています。

◎通園区域内に幼稚園がない場合は最寄りの幼稚園、通園区域内の幼稚園が休園中の場合は次に近い幼稚園にそれぞれ申し込みできます。

◎久松幼稚園は令和6年9月に常盤小学校内に移転します。

◎申し込み方法や受付期間、久松幼稚園の移転などについて、詳しくは区HPでご確認ください。

問学務課学事係 ☎(3546)5514



▲区HP

### トピックス



#### 中央区総合防災訓練

9月3日、日本橋地域で総合防災訓練が実施されました。多くの方が来場し、主会場の浜町運動場で行われた大規模な消火・救助訓練や、関東大震災100年特設展示などさまざまな防災展示・体験コーナーを熱心に見学していました。子ども向けに各展示を巡る「ぼうさいスタンプラリー」も実施され、子どもから大人まで防災意識を高めるきっかけとなりました。

### 令和6年度 区立認定こども園園児募集(短時間・幼稚園部分)

令和6年度区立認定こども園3・4・5歳児の募集を行います。

#### 申し込み資格

区内在住で、集団保育が可能な3・4・5歳児

- ・3歳児(令和2年4月2日～令和3年4月1日生まれ)
- ・4歳児(平成31年4月2日～令和2年4月1日生まれ)
- ・5歳児(平成30年4月2日～平成31年4月1日)

#### 申込書の配布・受付期間

10月25日～31日  
午前8時30分～午後5時

◎受付期間内に申し込みがない場合は、抽選の対象になりません。

#### 配布・受付場所

- ・区役所6階保育課保育入園係
- ・京橋こども園・晴海こども園
- ◎郵送で申し込む場合は、保育課保育入園係宛てに10月31日(必着)で申込書をご提出ください。

#### 抽選

申し込み人数が募集人数を超えた場合は抽選により内定者を決定します。希望園に兄弟姉妹が在籍している場合は優先取り扱いとし、先に抽選を行います。

#### その他

- ・各園の募集人数は区HPをご覧ください。
- ・希望園は京橋こども園、晴海こども園のどちらか一つをお選びください。

- ・区立認定こども園の申し込みに併せて、通園区域の区立幼稚園も同時に申し込みできます。
- ・私立認定こども園については、直接各園(勝どきこども園・阪本こども園・昭和こども園・渋谷教育学園晴海西こども園)にお申し込みください。

問保育課保育入園係

☎(3546)9587



▲区HP

### 区内の文化財

#### 土生玄碩墓

都指定文化財 旧跡  
築地三丁目15番1号  
築地本願寺境内

江戸時代以前にも行われていた日本と西欧諸国との貿易は、江戸幕府によるキリスト教禁制と貿易統制を目的とした外交政策の一環で、幕末の開国まで200年以上にわたってオランダ一国に限定していた時期がありました。とはいえ、オランダ商船の発着や商船員の居住地および貿易の場所は、寛永13年(1636)に築造された長崎の人工島「出島」に限定されており、長崎奉行の管轄の下でオランダ人の島外への無許可外出や日本人の島内への出入りも制限されていました。また、オランダ船が出島に入港(年1回)するたびに、オランダ商館長からの海外情報(通詞が翻訳した『風説書』)が幕府に提出されるとともに、商館長が出島から出る許可を得て、年に1度(後に4年に

1度)の江戸参府(将軍に拝謁と献上品呈上)が行われました。商館長一行が各地の阿蘭陀宿に止宿したことは、区民史跡「長崎屋跡」(平成28年12月21日号の記事)でも紹介しましたが、この江戸参府はオランダ人と日本人の希少な交流の機会となり、両国の文化全般にわたる交流(各種分野の調査研究)の機会ともなりました。中でも、この時期の日蘭交流における象徴的な人物は、文政6年(1823)に長崎のオランダ商館付医員に任じられて来日した、フィリップ・フランツ・フォン・シーボルト(1796～1866)です。来日の翌年、長崎郊外に診療所・医学私塾「鳴滝塾」を開いたシーボルトは、日本人への実地診療や多くの門人(高野長英・二宮敬作・高良斎・伊東玄朴・伊東圭介など)を集め、自然科学の深い知識と探求心(来日前は外科軍医や東インド自然科学調査官を歴任)をもって庭に植物園(後に出島にも開園)も設けました。文政9年(1826)には、商館長ステュルレルの江戸参府随行(2月～7月)に当たり、鳴滝塾の門人や長崎の絵師(川原慶賀)を一行に加えて日本の自然や風俗の調査が行われ、江戸滞在中には日本の蘭

学者や医師、天文学者や北方探検家(大槻玄沢・桂川甫賢・宇田川榕菴・土生玄碩・高橋景保・最上徳内など)とも会見・交流をしました。なお、現在の築地本願寺境内には、商館長の江戸参府随行中のシーボルトから教えを受けた門人の一人である眼科医・土生玄碩(1762～1848)の墓石(都指定旧跡「桑翁土生君之墓」)や顕彰碑(徳川家達の題額石碑「土生玄碩先生之碑」)が立っています。安芸国高田郡吉田(現在の広島県安芸高田市)の眼科医・土生家に生まれた玄碩は、5年の京都遊学(医師・和田東郭に師事)を経て家業を継ぎ、享和3年(1803)に広島藩医となりました。文化5年(1808)には、盛岡藩第10代・南部利敬の正室(広島藩第7代・浅野重晟の6女・教子)の眼病治療を命じられて江戸藩邸に赴き、当地での治療(治癒)の名声が広まったことで、文化7年(1810)には幕府の奥医師、文化13年(1816)には法眼に叙せられました。眼科医の盛名を博し、幕府侍医にまで栄達を遂げた玄碩ですが、江戸滞在中のシーボルトが治験した瞳孔を散大させる秘薬(散瞳薬)に驚嘆し、施術に有効な新薬の製法を得ようとは



土生玄碩墓

度も会見・懇願したといいますが、最終的には、危険を顧みずに将軍下賜の国禁品(商館長に御召葵御紋服之羽織、シーボルトに御紋付御帷子・御紋付小袖表)と引き換えに製薬教示を得ましたが、数年後にこのことが発覚(文政11年(1828)のシーボルト事件に連座)し、改易・禁錮の身(子の玄昌による第12代将軍・徳川家慶への眼病治療の功で天保8年(1837)に解かれる)となりました。嘉永元年(1848)に87歳で没した玄碩(大正4年(1915)に従四位追贈)は、菩提寺の真龍寺(築地本願寺の寺中寺院)に葬られ、震災後の墓地移転などを経て当地に改葬されています。

中央区教育委員会

学芸員 増山一成

凡例 問問い合わせ(申込)先 HPホームページ Eメールアドレス

ちゅうおう 区のおしらせ



SNSなど

